

第 2 回安曇野市消防委員会

- 1 審議会名.....安曇野市消防委員会...
- 2 日 時.....令和 2 年 9 月 17 日 午後 6 時 30 分から午後 7 時 10 分まで...
- 3 会 場.....本庁舎 4 階 大会議室...
- 4 出席者.....小出委員長、寺畑職務代理、井口委員、小林委員、伊藤委員、
白井一史委員、白井宏委員、平倉委員、塚田委員、小松委員、
相馬委員（消防署長）、二木弘委員（団長）
市側出席者.....金井総務部長、危機管理課 課長 二木
消防防災係 課長補佐 竹内 担当 丸山、八田、山田
- 6 公開・非公開の別.....公開.....
- 7 傍聴人.....0 人.....記者 1 人.....
- 8 会議概要作成年月日.....令和 2 年 10 月 1 日.....

協 議 事 項 等

1 会議の概要

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 自己紹介
- 4 委員長及び職務代理の選出
- 5 会議事項
 - (1) 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う消防団活動について
 - (2) 消防団員の条例定数の改正等について
 - (3) 今後の進め方について
 - (4) その他
- 6 閉会

2 会議事項

(1) 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う消防団活動について

- ・事務局から資料を基に説明

委員長：資料の 3 ページについて説明をいただいた。
この件について意見があればお願いしたい。

[意見なし]

委員長：意見がないということで、次に移りたい。

(2) 消防団員の条例定数の改正等について

- ・事務局から資料を基に説明

委員長：団員の定数の関係について説明をいただいた。
質問等あれば伺いたい。

[意見なし]

委員長：質問がないということで、次に移りたい。

(3) 今後の進め方について

・事務局から資料を基に説明

委員長：今後の進め方について説明をいただいた。
質問等あれば伺いたい。

〔意見なし〕

委員長：消防委員会答申の継続検討事項として残されている1から3のうち、どの課題から始めていくか、皆さんにご意見を伺いたい。

委員6：まず1番、出動体制の見直し及び組織の改革あるいは正副団長3名体制の検討ということで、この辺の関係については、消防委員会のほうでいろいろ言うよりも、実際、団としてどういうふうな運営の仕方がよいか、統廃合の進捗も踏まえて検討して貰ってもらうほうがいいという思いもあり、結論は今期中に出せないと思う。進捗を確認していくという程度でどうか。後に下がらないような、前に進むような形での確認をしていくということかと私は思う。

2番目だが、機能別消防団員制度の導入というところは、これも早急にとすることもなさそうで、各部がいろいろと工夫してやられているところがある。分団長までやっても退団せず、団員で残っているというケースがだいぶ増えてきている。そのように人員を確保したりとかというようなことも見られるし、よほど切羽詰まってこない限りは、議題の対象というか、しっかり話し合うにはまだ尚早と思う。

3番目の団員確保対策に関しては、団の中でも確保委員会が設置されていて、具体的に何か活動を進めていくということの中で、ホームページ立ち上げなどをやってきたと思う。消防委員としてやっていかなければいけないのは、前回のところに出ていたいろいろな組織、例えばPTAとか区長会などの意見を吸い上げて、団員確保のほうに結びつけていくという部分と考えている。

委員2：継続検討事項の1番の出動体制の見直しについて、1で正副団長5名体制から3名体制への移行についての組織図があるが、これは今までどおりの組織図か。

委員6：今までは、1ブロックから5ブロックまでをそれぞれの正副団長で活動していて、団長も自分のブロックを担当していたが、これから移行したいという新しい組織図を作った。

委員2：移行後の組織図はまだできていないか。

委員6：まだできていない。

委員2：それはあったほうが、イメージがわかりやすいと思う。

もう一つ、3番の消防団員確保計画について、今出たように、区やPTAの関係を消防委員としてやっていけばいいのではないかと思う。非常にいいことだと思うが、これは消防委員全体としていくのか。今は豊科地域、穂高地域、明科地域などから代表で来ているため、豊科地域なら豊科地域単独で動くということならいい感じに動くこともできると思うが、委員会全体で動くとなると何回でも会議をしていかなければいけないと思う。その辺の解釈はどうか。

委員長：そういった細かい話については、今後検討していくということになるかと思う。まずは3つの継続審査の内容について、どこから手をつけていくかということをご意見いただきたい。

外側からやっていくという意味では、3番は特に連携や連動しなければいけない部分はなく、こういう対策をとったらどうだという委員会としての方針は出せると思う。それから、先ほど委員6からご意見いただいたとおり、1番、2番については、関連するものが多いと思う。2番のほうはまだ少し手をつけやすく、枠をつくるというイメージ。

出動体制云々については、団の考え方もあると思う。特に統廃合の話は前年度も出ていたため、その辺を含めて組織をどういう形にしていくかということで、ちゃんと考えていけばいいと思う。

こちらとしてはスタートしていかなければいけないと思う。1のほうからの順番でどうかと、今いろいろご意見伺っていて思った。

委員（団長）：確かにいろんな議題が上がっているわけだが、今の団の実情としては、団員確保。本当にいま、どうしても欲しいというような形になっている。団員確保委員会をやり、ホームページをやり、メディアを使う等いろいろやりながら団員確保をしているが、どうしても増えない、やめるほうが多いというような形の中で、近々に皆さんの意見をいただいて、団員確保を進めていただきたいと思います。

委員長：そのほかにご意見はあるか。

〔意見なし〕

委員長：事務局に確認したい。1番の関係については、動きは特にないのか。

課長：以前から正副団長は5人体制でやっていただいているが、一時期、3人体制という計画もあった。消防団としても、市長の意向としても各地域に団長なり副団長を置くとの考えで現在に至っている。あとは特に進展はない。

委員長：団のほうも、まだ動きについては固まっていないということでしょうか。

委員（団長）：団員や分団長の意見等を聞いた結果、1ページにあるような、団長を別にして4人の副団長が出るような形にして、第1ブロックと第4ブロックは共通の副団長という形でいまのところ支障はない。
スムーズに活動できているため、私としてはよろしいかと思う。

委員長：先ほど団長からご意見をいただいたが、団員を確保して災害時の対応をできやすくするということが一番大事なことだと思う。年度途中の入団もあるかもしれないが、期の新しいところで人が決まる。そういう意味では、早く手を打ったほうが成果が上がると思う。
最初は、消防団員の確保対策について皆さんからご意見をいただいて、検討していきたいと思う。
その他は、団員確保について協議しながらでよいかな。

課長：そのようにしていただいて構わない。また事務局としてはこれ以外に消防団の協力金について、議会でも議案質疑されていて、こういった内容についても、消防委員の皆様の見聞を聞きたいので、よろしくお願ひしたい。

委員長：それはまた議題に取り上げていくということで。
まずは消防団員の確保の方法、方策について委員の皆さんからご意見をいただいて、とりまとめていくというところから進めたいと思う。
次回の委員会のところでは詰めるということで、それまでに皆さんでいろいろご検討いただいて、ご意見を出していただければありがたい。
ちなみにこれは任期中ということでしょうか。

課長：そのとおりです。

委員長：順次、課題を解決しながら次のものに入っていくということで、取り組んでいくことにしたいと思う。
いずれにしても、この3つについては、できるだけ皆さんが同じ任期のときにある程度イメージづくりができて、枠が出来上がればいいかと思う。
いろいろな場面で考えていただいて、日々ということは無理かもしれないが、次回11月には委員会を開く予定であるため、そこでまずは確保対策について、ご意見をいただければと思う。
今後の進め方、順番についてはよろしいか。

〔意見なし〕

委員長：次回は11月10日火曜日6時半からとする。